



白いころ

道しるべ

「先生、最近また見にくくなった気がします・・・」
検査中、うつむきながら暗い声で話す患者さん。

それまで見えていたものが、見えなくなってしまうことへの戸惑い。
光を使って視野を測定する検査では、見えない不安に直面するからこそ、
負の感情が抑えきれないこともある。

「右側が見えづらいですか？ 大丈夫ですよ。
では、もう少し真ん中を注意して見てみましょう」

耳元でやさしく声をかけると、
怖がりながらも少しずつ、
自分の力で光を探し始める患者さん。

「いいですよ。そう、その調子。
最後は、左側を意識して見ていてくださいね」

暗闇の中は、怖いかもしれないけれど、
決して一人じゃない。

みんなで支えたいと思うから、
患者さんを励ますように、今日も声をかけていく。
進むべき道を示す“道しるべ”のように。